

奈良県教育委員会

週報

第2313号

平成31年3月20日発行

目 次

(件 名)	(宛 先)	(主管課)	(頁)
2019年度週報の発行について	各市町村教委教育長 各学校(園)長 学校以外の各県立教育機関の長 県教委事務局各課(室・所)長	企画管理室	1
平成31年度奈良県高等学校等奨学金(修学支援奨学金・育成奨学金)の募集について	各市町村教委教育長 各高等学校長 各中等教育学校長 各特別支援学校長	学校支援課	3
博物館等の活用について	各市町村教委教育長 各学校長	学校教育課	7
平成31年度県立教育研究所研修講座実施計画について	各市町村教委教育長 各公立学校(園)長	教育研究所	14
平成31年度森林環境教育指導者育成事業(未来の科学者創出)推進校の募集について	各市町村教委教育長 各小学校長	教育研究所	21

(次の週報は、平成31年4月4日(木)発行の予定です。)

教企第255号

平成31年3月20日

各市町村教委教育長
各学校（園）長
学校以外の各県立教育機関の長
県教委事務局各課（室・所）長

殿

奈良県教育委員会事務局企画管理室長

2019年度週報の発行について（通知）

このことについて、奈良県教育委員会週報発行規程（昭和33年12月奈良県教育委員会教育長訓令甲第1号）第3条に基づき、2019年度の週報の発行日を別紙「2019年度週報発行予定表」のとおり定めたので通知します。

(別紙)

2019年度週報発行予定表

月	週報発行日		
4月	4日(木)	11日(木)	25日(木)
5月	16日(木)	30日(木)	
6月	13日(木)	27日(木)	
7月	11日(木)		
8月	1日(木)	29日(木)	
9月	12日(木)	26日(木)	
10月	10日(木)	24日(木)	
11月	7日(木)	21日(木)	
12月	5日(木)	19日(木)	
1月	9日(木)	23日(木)	
2月	6日(木)	20日(木)	
3月	5日(木)	19日(木)	

※週報は、原則隔週木曜日発行とします。

平成31年3月20日

各市町村教委教育長
各高等学校長
各中等教育学校長
各特別支援学校長

}

殿

奈良県教育委員会教育長

平成31年度奈良県高等学校等奨学金（修学支援奨学金・育成奨学金） の募集について（通知）

「修学支援奨学金」、「育成奨学金」について、下記により平成31年度の募集を行いますので、生徒への周知及び申請について特段の御配慮をお願いします。

記

1 募集概要

別紙1のとおり

2 受付期間

平成31年4月8日（月）～平成31年5月10日（金）（必着）

3 募集人数

450名程度

4 その他

申請者へは「奈良県高等学校等奨学金貸与申請書」等申請関係書類一式（※）を配布

※ 奨学金の概要・各種様式・記入例については、平成31年4月5日（金）に実施する奨学金貸与説明会で説明し、「申請のてびき」及び申請書類一式を配布する。

5 問合せ先

奈良県教育委員会事務局 学校支援課 授業料奨学金係

〒630-8502 奈良市登大路町30番地

TEL:0742-27-9859 FAX:0742-27-2985

奈良県高等学校等奨学金の募集について

I 募集概要

* 詳細は、平成31年4月5日(金)実施の貸与説明会にて配布予定の奈良県高等学校等奨学金「申請のてびき(平成31年4月版)」をご覧ください。

1 申込資格 (現在貸与中の者は申込みができません。)

(1) 修学支援奨学金 (全学年対象)

- ① 高等学校 (中等教育学校の後期課程を含む。) 又は高等専門学校に在学している者
- ② 親権者又は未成年後見人が県内に住所を有している者
- ③ 向学心に富み、学習態度が良好であると認められる者
- ④ 経済的理由により、著しく修学が困難と認められる者
- ⑤ 地方公共団体その他公共的団体から、学資の貸与又は給付を受けていない者

(注1) ④について：世帯全員の収入額の合計が生活保護基準の1.5倍以内であること

(2) 育成奨学金 (全学年対象)

- ① 高等学校 (中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。) 又は専修学校の高等課程 (規則に定めるものに限る。) に在学している者
- ② 親権者又は未成年後見人が県内に住所を有している者
- ③ 向学心に富み、学習態度及び学習状況が良好であると認められる者
- ④ 経済的理由により、修学が困難と認められる者
- ⑤ 地方公共団体その他公共的団体から、学資の貸与又は給付を受けていない者

(注2) ①について：特別支援学校への就学奨励に関する法律 (昭和29年法律第144号) による経費の支給を受けている者へは貸与できません。

③について：学習成績の評定を全履修科目について平均した値が3.0以上であること。
(5段階評価、小数第2位四捨五入)

高等学校等第1学年の在学申請においては、中学校の全教科の評定平均値又は高等学校等の1学期中間考査終了時の評定平均値とします。

ただし、中学校の評定平均値は、中学校第3学年時又は中学校第1学年から中学校第3学年までの全教科の評定平均値のいずれかとします。

高等学校等第2学年、第3学年の在学申請においては、高等学校における前年又は前年と前々年の全履修科目の評定平均値とします。

④について：世帯全員の収入額の合計が生活保護基準の1.5倍 (特に意欲があると認められる場合にあつては、予算の範囲内で3.0倍) 以内であること。

2 申込み及び決定

(1) 申込みの提出書類

奈良県高等学校等奨学金「申請のてびき(平成31年4月版)」と共に配布する様式集から、複写してご利用ください。また、奈良県教育委員会 学校支援課のホームページ内「奈良県高等学校等奨学金」のページにも、様式・記入例を記載しています。

URL <http://www.pref.nara.jp/13014.htm>

◎新規申請（在学）

奨学金の申込みのために用意していただく書類は、次のとおりです。

- ① 貸与申請者一覧表（新規申請者用）
- ② 奨学金貸与申請書〔第1号様式〕
- ③ 在学校の校長の推薦書
- ④ 市町村長発行の課税証明書等

（扶養人数、所得金額、課税金額、社会保険料等の控除金額、非課税の場合非課税理由の記載されたもの。原則として世帯全員分が必要ですが、被扶養者であることが課税証明書等で確認できる方は不要）

*** 今回の申請では、平成30年度課税証明書が必要です。**

- ⑤ 住民票謄本（世帯全員）

（記載事項欄の省略のないもの。ただし、本籍地・マイナンバーは必要ありません。）

- ⑥ 連帯借受人の印鑑登録証明書（最近3か月以内に発行されたもの）
- ⑦ 請求書（前後期分）
- ⑧ 口座振替申出書（通帳のコピーを添付）
- ⑨ 借用証書
- ⑩ 申請印確認票

(2) 書類の経由

教育長に提出する書類は、各学校の校長を経由してください。

(3) 決定通知

奨学金貸与申請に係る審査の結果は、各学校を通して通知します。（平成31年7月中旬予定）

3 貸与月額

区 分		奨 学 金 の 額		
		自 宅	自宅外加算 (5, 0 0 0 円)	へき地加算 (1 2, 0 0 0 円)
生活保護法の高等学校 等就学費の給付を受け ている者	国・公立	5, 0 0 0 円	1 0, 0 0 0 円	—
	私 立	1 7, 0 0 0 円	2 2, 0 0 0 円	—
その他の者	国・公立	1 8, 0 0 0 円	2 3, 0 0 0 円	3 0, 0 0 0 円
	私 立	3 0, 0 0 0 円	3 5, 0 0 0 円	4 2, 0 0 0 円

- ※ へき地教育振興法（昭和29年法律第143号）第2条に規定するへき地学校（小学校に限る。）の通学区域に居住する生徒に対しては、希望すればへき地加算金月額1万2千円を加算して貸与できます。
- ※ へき地教育振興法（昭和29年法律第143号）第2条に規定するへき地学校（小学校に限る。）の通学区域に居住する生徒で、生活福祉資金の修学資金の貸与を受けている場合は、へき地加算金月額1万2千円を貸与できます。
- ※ 申請時と状況が変わり貸与額が変更になる場合は、その旨を授業料奨学金係に連絡し、貸与月額変更事由発生届を提出してください。

各市町村教委教育長 }
 各 学 校 長 } 殿

奈良県教育委員会教育長

博物館等の活用について（通知）

学校の創意工夫を生かした指導計画を作成する上で、学校外施設の活用は有効な取組の一つです。

児童生徒の学習意欲を高め、学習効果をあげるために、次年度の学校行事等の計画を立てるに当たって、下記の施設の活用についてよろしくお願いします。

記

1 県内の主な施設

名 称	所 在 地	連 絡 先	展 示 内 容 等
奈良国立博物館	奈良市登大路町50	0742-22-7771 (代表) 050-5542-8600 (ハローダイヤル)	仏教美術を中心とする彫刻、絵画、書跡、工芸、考古の名品
キトラ古墳壁画体験館「四神の館」	高市郡明日香村阿部山67	0744-54-5105	キトラ古墳やキトラ古墳壁画を体験的に学べる施設
奈良県立美術館	奈良市登大路町10-6	0742-23-3968	江戸時代を中心とする絵画や奈良にゆかりの深い作家の作品等を展示（特別展は展覧会ごとに異なる展示）
奈良県立民俗博物館	大和郡山市矢田町545	0743-53-3171	県内の各市町村から収集した、近世以降の民俗資料と古民家
奈良県立橿原考古学研究所附属博物館 【平成30年12月末	橿原市畝傍町50-2	0744-24-1185	奈良の歴史が分かるような県内遺跡から出土した考古資料

から約2年間休館予定】			
うだ・アニマルパーク	宇陀市大宇陀小附 75-1	0745-87-2520	動物とのふれあい、畜産物加工体験、「いのちの教育」プログラム
奈良県立万葉文化館	明日香村飛鳥10	0744-54-1850	万葉の時代の歴史文化や暮らしが体感できる人形や映像などの資料
平城宮跡歴史公園「朱雀門ひろば」等	(国営公園区域) 奈良市二条大路南 3-5-1 (県営公園区域) 奈良市二条大路南 4-6-1	0742-36-8780 0742-35-8201	平城宮のかつての姿や人々の営みに関する展示など
奈良県馬見丘陵公園館	河合町佐味田 2202	0745-56-3851	馬見丘陵の古墳や自然についての資料
水平社博物館	御所市柏原235-2	0745-62-5588	水平社運動をはじめとした人権問題歴史資料
なら工芸館	奈良市阿字万字町1-1	0742-27-0033	一刀彫、陶芸など奈良の工芸品の展示、工芸教室の開催
橿原市昆虫館	橿原市南山町624	0744-24-7246	昆虫と自然や人との関わりについての資料、放蝶温室
橿原市立こども科学館	橿原市小房町11-5	0744-29-1300	遊びを通じた科学体験
おおくぼまちづくり館	橿原市大久保町40-59	0744-22-4747	まちづくりの歩み、人権学習
大塔コスミックパーク「星のくに」	五條市大塔町阪本 249	0747-35-0321	プラネタリウム、天文台
市立五條文化博物館	五條市北山町930-2	0747-24-2011	五條の文化や歴史に関する資料
香芝市二上山博物館	香芝市藤山1-17-17	0745-77-1700	二上山の噴火によって産出された三つの石（サヌカイト・凝灰岩・金剛砂）と人々の暮らし

葛城市歴史博物館	葛城市忍海 2 5 0 - 1	0745-64-1414	葛城市を中心とした考古・歴史資料や近代の民俗資料
森林科学館	山添村伏拝 8 8 8 - 1	0743-87-0548	自然と生き物の関わりについての資料
天川村洞川エコミュージアムセンター	天川村洞川 7 8 4 - 3 2	0747-64-0999	大峯山系の自然と文化についての資料
森と水の源流館	川上村宮の平	0746-52-0888	川上村の特色、自然についての資料、源流体験の開催
春日大社神苑萬葉植物園	奈良市春日野町 1 6 0	0742-22-7788	万葉集にゆかりの深い植物
高松塚壁画館	明日香村平田 4 3 9	0744-54-3340	高松塚古墳壁画の模写、石室内部模型、出土品の模造品
天理大学附属天理参考館	天理市守目堂町 2 5 0	0743-63-8414	世界各地の生活文化資料、考古美術資料
帝塚山大学附属博物館	奈良市帝塚山 7 - 1 - 1	0742-48-9700	考古、民俗、歴史、美術資料や古代朝鮮半島の瓦

(注)

- ・上記以外にも、県内及び近隣府県には児童生徒が学習を進める際に効果的な施設等が多数存在している。
- ・活用に当たっては、学習のねらい、学校・児童生徒の実態等を考慮の上、利用すること。

2 施設の活用例

(1) 奈良国立博物館

奈良国立博物館は、全国に四つしかない国立博物館の一つで、明治28（1895）年に開館した日本で2番目に古い博物館である。仏像をはじめとする仏教美術と奈良の文化を中心にした展示活動を行っている。毎年秋に開催される「正倉院展」は有名で、海外からも多くの人々が訪れる。

展示室（名品展のみ）には解説ボランティアが待機し（開館日10時～16時）、作品に関する質問に応じ、また、なら仏像館において、1日2回（①11：00～、②14：00～）、約30分間の作品見どころ解説ツアーを実施している。その他にも、学校団体を対象としたボランティアによる案内プログラムも行っている。展示室には国宝や重要文化財の美術工芸品が数多くあり、大切に伝えられてきた日本の文化の素晴らしさを感じることができる。社会科や美術科の学習の一環として活用できる。

なお、名品展は高校生以下及び18歳未満の方は無料となっている。

(2) キトラ古墳壁画体験館「四神の館」

国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区内にある、キトラ古墳やキトラ古墳壁画を分かりやすく学べる体験型施設である。1階のキトラ古墳壁画保存管理施設では、実物の壁画や出土遺物を保存管理・展示している（壁画公開は期間限定、事前登録制）。地下1階の展示室では、キトラ古墳の石室の原寸大レプリカが展示されているほか、キトラ古墳壁画に描かれていた「四神」が高精細映像で実物の最大100倍規模で鑑賞することができ、天井には天文図が投影される。また、大陸から伝わった文化や飛鳥時代に生まれた文化、当時の人々の生活を2メートル四方のジオラマ等を通して学ぶこともでき、郷土の歴史遺産に対する興味関心を高めることができる。

社会科の歴史学習や総合的な学習の時間などの学習の場として活用できる。

入館無料。芝生広場では飲食可能。1階は壁画非公開時は水曜閉室（祝日の場合は翌平日）

(3) 奈良県立美術館

鹿が群れ遊ぶ豊かな自然に恵まれた奈良公園に隣接する奈良県立美術館は、鎌倉時代から現代に至るまでの絵画、工芸、彫刻、書跡、風俗資料など幅広い美術品約4,100件を有する全国屈指の公立美術館である。

特に江戸時代の日本画、浮世絵、女性風俗に関する各種工芸資料、昭和30年から40年代の日本の抽象画、高畑ゆかりの洋画家の名品、近代陶芸の巨匠富本憲吉の名品、世界中で高く評価されるいるグラフィックデザイナー田中一光の作品等、数多くの所蔵作品がある。

斬新で奈良らしい特別展や企画展を毎年開催し、地域の誇りになるような親しみやすい美術館づくりを展開している。

小学校から高等学校の図画工作科や美術科の学習で、美術館を活用することにより児童生徒は芸術作品をより身近に感じることができる。なお、企画展は、土曜日に観覧する場合及び奈良県内の学校の児童生徒が教職員の引率のもと観覧する場合については、観覧料は無料となっている。（特別展については、別途料金が必要）

(4) 奈良県立民俗博物館

昭和49（1974）年に開館した民俗博物館（通称：みんぱく）は、22.6haの広さをもつ大和民俗公園の中にある。昭和20年代頃の農具や生産用具、衣食住を中心とした生活用具などをはじめ、近世以降の民俗資料約4万4千点を所蔵している。

館内では、等身大人形を使った常設展「稲作」「茶業」「林業」や折々の企画展に加え、大正から昭和初期の家の中などを再現した「昔の暮らし」をリニューアル。事前・事後の学習にも役立つ教材、「昔の暮らし」の解説書と2種のワークシートも全面改定。おもに小学3・4年生の学習に沿った内容となっている。学芸員やボランティアによる展示解説

や、様々な道具に直接触ることができる体験コーナー、ビデオ学習室なども充実している。

園内には、県内各地から重要文化財を含む15棟の古民家が移築展示されており、かまどの火入れ見学も可能。博物館と合わせて奈良の暮らしの移り変わりを体感的に学べるだけでなく、広々とした芝生広場や里山散策エリアは遠足にも適する。見学プログラムは、事前打合せでカスタマイズが可能。教職員向けの博物館活用研修も実施。駐車場は無料(大型バス駐車可)。博物館の観覧料は、高校生以下無料、引率の教職員は団体料金適用

(5) 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館

奈良県内の多くの遺跡からの出土品を旧石器時代から室町時代まで時代順に展示し、説明している。橿原遺跡、唐古・鍵遺跡、メスリ山古墳、藤ノ木古墳、飛鳥宮跡、太安万侶墓誌などはその代表的なものである。展示室では解説ボランティアによる展示解説があり、また、無料スペースでは映像ライブラリー、情報コーナーなども利用できる。県内の遺跡からの出土品を実際に見学することで、社会科の歴史学習等への関心を高めたり、当時の暮らしについて理解を深めたりすることができる。また、日本を代表する考古学の数多くの成果に接することができる。また、郷土の歴史遺産に対する興味・関心を高めることができる。教職員の引率のもと学校教育の一環として観覧する場合、入館料は無料となっている。

※空調設備等の改修工事のため、平成30年12月末から約2年間休館予定

(6) うだ・アニマルパーク

動物への理解を深めることにより動物愛護の気持ちを育むことなどを目的として、平成20(2008)年4月に開園した。パーク内の動物学習館の展示見学や、「いのちの教育」プログラムの受講を通して、畜産動物、伴侶動物、野生動物について理解を深めることができる。バター作りなどの畜産物加工体験を通して、畜産動物からの食の恵みを実感することができる。また、えさやりや乳しぼり、乗馬体験、小動物の見学を通して、動物とふれあい、温かみを体感することにより、「動物とのかかわり」、「いのちの大切さ」を実感することができる。生活科や総合的な学習の時間の学習の場として活用できる。

(7) 奈良県立万葉文化館

インタビュー形式で対話する「万葉びとの暮らしインタビュー」など楽しく遊び学べるコーナーもあり、万葉時代の歴史・文化や暮らしなど「万葉の時代」を1300年の時空を超えて体感できるとともに、日本のはじまりの地、飛鳥で、社会科の歴史学習をより深めることができる。また、日本画を中心とした優れた美術品を集めた展覧会を開催しているほか、我が国最古の鋳造貨幣「富本銭」などが発掘された飛鳥池工房遺跡の遺構を展示している。さらに約2万㎡の万葉庭園では、四季を通じて万葉の草木が楽しめるとともに、弁当を食べることも可能

学校行事における日本画展示室観覧料は無料(減免申請必要)。バス駐車場有り(無料)

(8) 平城宮跡歴史公園「朱雀門ひろば」等

古都奈良の歴史的・文化的景観の中で、平城宮跡の保存と活用を通じて、奈良時代を今に感じる空間として整備された「平城宮跡歴史公園」の一部として平成30年3月24日（土）に開園。朱雀門ひろば内には、国営公園区域として、平城宮の模型や平城宮跡での出土品（木簡や屋根瓦等）、第一次大極殿の木組み模型等を展示するとともに平城宮での人々の営みを再現した映像プログラムを投影する「平城宮いざない館」、県営公園区域として、遣唐使船解説コーナーや実際に乗船できる復原遣唐使船を備えた「天平うまし館」、展望スペースやVRシアターを設けた「天平みはらし館」、県内の観光情報を提供したり、県内の特産品や平城京ゆかりの物品を販売したりする「天平みつき館」等の様々な施設がある。

また、平城宮跡を中心に奈良時代が効果的に学べる出前学習セット「平城学習パック」（平城京再生プロジェクト（県営公園指定管理者）より無料で貸出し）や、奈良時代の歴史や人々の暮らしをタブレット端末などで楽しく学べるスマートフォンアプリ「なら平城京歴史ぶらり」（無料で配信）などを平城宮跡フィールドワークと組み合わせて社会科の歴史学習や総合的な学習の時間の学習の場として活用できる。

(9) 奈良県馬見丘陵公園館

馬見丘陵は、香芝市・広陵町・河合町など2市3町に跨がる標高70m程度の低い丘陵地で、南北約7km・東西約3kmの区域である。付近の丘陵一帯は馬見古墳群のエリアで、古墳の集積地となっている。

昭和40年代後半より丘陵西部では真美ヶ丘や西大和ニュータウンなどの大規模宅地開発が始まったが、丘陵東部に位置する馬見丘陵公園は、これらの開発から自然や古墳群を保全するため、昭和59年8月に都市公園（広域公園）として計画決定し、同年度より公園事業に着手し、平成24年6月に全面開園している。

馬見古墳群は奈良盆地における佐紀盾列古墳群、大和柳本古墳群と並ぶ大和3大古墳群の1つで、4～5世紀に築造されたものが多く、250基を超える大古墳群であり、馬見古墳群の一画にある園内には、池上、乙女山、倉塚、ナガレ山、別所下、狐塚古墳など多くの古墳が保存され、このうちの2箇所が史跡指定されている。馬見丘陵公園館においては、こうした貴重な馬見丘陵公園の古墳や自然について分かりやすく解説している。

入館料は無料で休館日は月曜日（ただし月曜日が休日の場合は次の平日）及び年末年始（12月28日から1月4日）となっている。開館時間は9時から17時（入館は16時30分まで）

(10) 水平社博物館

水平社博物館では、水平社運動が起こった背景や経過について具体的な展示がなされている。加えて、参加体験型コーナーなども設置され、より充実した展示となっている。

社会科の歴史学習において、教科書に取り上げられている「山田孝野次郎」についてより詳しく知ったり、全国水平社創立大会の熱気を疑似体験したりすることを通して、解放運動やその指導者について学ぶことができる。また、展示や参加体験型コーナーで学んだことを交流し、差別や人権について考えるきっかけとすることができる。

各市町村教委教育長 }
 各公立学校（園）長 } 殿

奈良県教育委員会教育長

平成31年度県立教育研究所研修講座実施計画について（通知）

このことについて、下記のとおり実施しますので、関係教職員に周知願います。受講申込み等の詳細については、改めて通知します。

なお、奈良市立学校・園における受講申込み等については、奈良市教育委員会の指示に従ってください。

記

1-1 初期研修（初任者・新規採用者研修）

研修講座名	開催日	日数	受講定員	対象校(園)種
幼稚園等新規採用教員研修講座	5/14ほか、詳細は年度当初に連絡する。	8	対象者全員	幼・特
初任者研修講座 小学校	4/1ほか、詳細は年度当初に連絡する。	18	対象者全員	小
初任者研修講座 中学校	4/1ほか、詳細は年度当初に連絡する。	17	対象者全員	中
初任者研修講座 高等学校	4/1ほか、詳細は年度当初に連絡する。	17	対象者全員	高
初任者研修講座 特別支援学校	4/1ほか、詳細は年度当初に連絡する。	18	対象者全員	特
新規採用養護教諭研修講座	4/1ほか、詳細は年度当初に連絡する。	11	対象者全員	小・中 ・高・特
新規採用栄養教諭研修講座	4/1ほか、詳細は年度当初に連絡する。	11	対象者全員	小・中 ・特
新規採用学校事務職員研修講座	4/1ほか、詳細は年度当初に連絡する。	12	対象者全員	小・中
新規採用実習助手研修講座	4/1、8/19	2	対象者全員	高・特

1-2 初期研修（2年目・3年目）

研修講座名	開催日	日数	受講定員	対象校(園)種
初期研修講座（2年目）小学校	7/23、8/5、8/20、 2学期以降	4	対象者全員	小
初期研修講座（2年目）中学校	8/9、8/21	2	対象者全員	中
初期研修講座（2年目）高等学校	7/24、7/31	2	対象者全員	高
初期研修講座（2年目）特別支援学校	8/5、8/23	2	対象者全員	特
初期研修講座（2年目）養護教諭	8/20	1	対象者全員	小・中・高・ 特
初期研修講座（2年目）栄養教諭	7/24	1	対象者全員	小・中・特
初期研修講座（2年目・3年目）学校 事務職員	8/2	1	対象者全員	小・中
初期研修講座（3年目）小学校	7/29、8/9、12/25	3	対象者全員	小
初期研修講座（3年目）中学校	7/26、8/21	2	対象者全員	中
初期研修講座（3年目）高等学校	7/26、7/31	2	対象者全員	高
初期研修講座（3年目）特別支援学校	7/26	1	対象者全員	特

2 新規任用臨時講師研修

研修講座名	開催日	日数	受講定員	対象校(園)種
新規任用臨時講師研修講座	6/10、6/21、7/1	3	対象者全員	小・中 ・高・特

3 中堅教諭等資質向上研修

研修講座名	開催日	日数	受講対象	対象校(園)種
幼稚園中堅教諭等資質向上研修講座 保育専門研修<プログラム1>	6/26	1	対象者全員	幼
幼稚園中堅教諭等資質向上研修講座 保育専門研修<プログラム2>	7/9	1	対象者全員	幼
幼稚園中堅教諭等資質向上研修講座 保育専門研修<プログラム3>	8/23	1	対象者全員	幼
中堅教諭等資質向上研修講座（コミュ ニケーション能力）	8/6	1	220	幼・小・中・ 高・特
中堅教諭等資質向上研修講座（メンタ ルヘルス・キャリア教育）	8/21	1	100	幼・小・中・ 高・特
中堅教諭等資質向上研修講座（男女共 同参画・人権教育）	8/21	1	100	小・中・高・ 特
中堅教諭等資質向上研修講座（奈良県 の教育）	7/23	1	100	小・中・高・ 特
中堅教諭等資質向上研修講座（道徳教 育）	8/16	1	220	小・中・高・ 特
中堅教諭等資質向上研修講座（情報教 育）	7/24	1	100	小・中・高・ 特
中堅教諭等資質向上研修講座（外国語 教育）	8/23	1	220	小・中・高・ 特
中堅教諭等資質向上研修講座（教育心 理学）	7/31	1	220	小・中・高・ 特
中堅教諭等資質向上研修講座（児童虐 待防止）	8/1	1	220	幼・小・中・ 高・特

中堅教諭等資質向上研修講座（特別支援教育Ⅰ）	8/19	1	220	小・中・高・特
中堅教諭等資質向上研修講座（特別支援教育Ⅱ）	8/20	1	220	幼・小・中・高・特
中堅教諭等資質向上研修講座（教育相談）	7/26	1	220	幼・小・中・高・特
中堅教諭等資質向上研修講座（生徒指導・アンガーマネジメント）	7/31	1	220	小・中・高・特
中堅教諭等資質向上研修講座（安全教育・健康教育）	7/25	1	100	小・中・高・特
中堅教諭等資質向上研修講座（防災教育）	8/16	1	60	小・中・高・特
中堅教諭等資質向上研修講座（カリキュラム・マネジメント）	8/2	1	220	小・中・高・特
中堅教諭等資質向上研修講座（コーチング）	8/19	1	100	小・中・高・特
養護教諭中堅教諭等資質向上研修講座 専門研修<プログラム1>	8/5	1	対象者全員	小・中・高・特
養護教諭中堅教諭等資質向上研修講座 専門研修<プログラム2>	8/8	1	対象者全員	小・中・高・特
養護教諭中堅教諭等資質向上研修講座 専門研修<プログラム3>	8/22	1	対象者全員	小・中・高・特
栄養教諭中堅教諭等資質向上研修講座 専門研修<プログラム1>	8/5	1	対象者全員	小・中・特
栄養教諭中堅教諭等資質向上研修講座 専門研修<プログラム2>	8/22	1	対象者全員	小・中・特
栄養教諭中堅教諭等資質向上研修講座 専門研修<プログラム3>	10/10	1	対象者全員	小・中・特
学校事務職員中堅教諭等資質向上研修講座 専門研修<プログラム1>	8/5	1	対象者全員	小・中
学校事務職員中堅教諭等資質向上研修講座 専門研修<プログラム2>	8/22	1	対象者全員	小・中
学校事務職員中堅教諭等資質向上研修講座 専門研修<プログラム3>	2学期以降	1	対象者全員	小・中

4 コアリーダー(中堅教職員)研修

研修講座名	開催日	日数	受講定員	対象校(園)種
高等学校特別支援教育コーディネーター研修講座	7/2、8/29	2	対象者全員	高
学校現場におけるアセスメントを生かした支援の在り方研修講座	10/18、1/31	2	50	小・中・高・特
学校教育相談コーディネータースキルアップ研修講座	7/4	1	25	小・中・高・特
教務担当者による組織マネジメントを活用した学校活性化等研修講座	6/25	1	120	小・中・高・特
ワーク・ライフ・マネジメント研修講座（京都府連携講座）	10/17	1	20	幼・小・中・高・特

※ 対象校(園)種の幼は、幼保連携型認定こども園も参加が可能です。

5 管理職等研修

研修講座名	開催日	日数	受講定員	対象校(園)種
管理職「人権教育」研修講座	6/20	1	対象者全員	小・中・高・特
子どもの自殺予防研修講座（中・高・特管理職）	6/17	1	対象者全員	中・高・特
新任校長研修講座	6/14、10/17	2	対象者全員	小・中・高・特
幼稚園経営研修講座	6/19	1	対象者全員	幼
新任教頭研修講座	5/31、8/27	2	対象者全員	小・中・高・特
新任園長等研修講座	6/13	1	対象者全員	幼

※ 対象校(園)種の幼は、幼保連携型認定こども園も参加が可能です。

6-1 希望研修（教科等専門研修）

研修講座名	開催日	日数	受講定員	対象校(園)種
体育指導力向上研修講座	8/16、8/19、8/20、8/21、8/22	5	各講座 50名	小・特
外国語指導助手の指導力等向上研修講座	8/9、8/19、11/14、11/15	4	対象者全員	小・中・高・特
これからの国語科の授業づくり研修講座	8/26	1	100	小・中・高・特
選挙制度から学ぶ主権者教育研修講座	8/9	1	20	小・中・高・特
司法制度から学ぶ法教育研修講座	7月下旬	1	40	小・中・高・特
学ぶ楽しさが分かる小学校社会科授業づくり研修講座	7/29	1	60	小・(中)・特
算数・数学の授業力アップ研修講座	7/26	1	60	小・中
中学校・高等学校理科授業づくり研修講座	8/6	1	24	中・高
小学校理科授業づくり研修講座	8/19	1	48	小・特
小学校生活科授業づくり研修講座	8/5	1	80	幼・小・特
鑑賞の基礎・基本研修講座	8/20	1	50	小・(中)・特
音楽実技（基礎編）研修講座	8/5	1	20	幼・小・(中)・(高)・特
夢中になる体育の授業づくり研修講座	7/23	1	40	小・(中)・特
中学校・高等学校保健体育指導研修講座	8/2	1	40	(小)・中・高・特
豊かな心を育む道徳教育研修講座	8/29	1	200	小・中・特
小学校外国語A研修講座	8/5	1	50	小・中・特
小学校外国語B研修講座	8/19	1	50	小・中・特
「いのちの教育」プログラム研修講座	8/2	1	20	幼・小
消費者教育研修講座	8/2	1	40	小・中・高・特

小学校特別活動「実践に学ぶ！学級活動」研修講座	一学期後半	1	20	小・(中)・特
養護教諭研修講座	8/8	1	40	小・中・高・特
栄養教諭・学校栄養職員研修講座	8/5	1	60	小・中・特
学校事務スキルアップ研修講座	7/4	1	対象者全員	小・中
学校事務職員研修講座	8/22	1	60	小・中
学校事務のグループワーキング研修講座	9/10	1	60	小・中
森林環境教育基礎研修講座	8/7、8/8	2	対象者全員	小・中・特
森林環境教育「春日山の自然と歴史を訪ねて」研修講座	8/22	1	20	幼・小・中・高・特
森林環境教育「森とふれあい、森を知ろう」研修講座	7/29	1	40	幼・小・中・高・特

※ 対象校(園)種の(小)(中)(高)は、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校にも受講を認めている講座です。幼は、幼保連携型認定こども園も参加が可能です。

6-2 希望研修(今日的課題等研修)

研修講座名	開催日	日数	受講定員	対象校(園)種
課題別人権教育研修講座	夏期休業中(予定)	3	対象者全員	幼・小・中・高・特
人がつながる「地域と共にある学校づくり」研修講座	7/29	1	500	幼・小・中・高・特
学校全体で取り組む特別支援教育研修講座	8/8	1	100	幼・小・中・高・特
通級指導教室担当者育成研修講座	7/23、8/21、10/18、1/31	4	50	小・中・高・特
高等学校における通級による指導研修講座	8/29	1	50	幼・小・中・高・特
特別支援学級担任サポート研修講座	8/16	1	50	小・中
学校教育相談ベーシック研修講座	7/25、8/26	2	30	幼・小・中・高・特
学校教育相談コーディネーター養成研修講座	8/1、8/29	2	30	小・中・高・特
子どもの自殺予防研修講座(小学校)	8/20	1	対象者全員	小
子どもの虐待防止に関する研修講座	8/21	1	50	幼・小・中・高・特
いじめ等問題行動及び不登校の見立てと支援に関する研修講座(小学校)	7/25	1	30	(幼)・小・特
いじめ等問題行動及び不登校の見立てと支援に関する研修講座(中・高・特)	7/24	1	30	中・高・特
思春期の家庭教育力アップ研修講座	8/26	1	50	小・中・高・特
家庭まで届ける読書の楽しさ研修講座	7/24	1	50	幼・小・中・特
いのちを守る防災教育研修講座	7/31	1	20	小・中・高・特

※ 対象校(園)種の(幼)は、幼稚園及び幼保連携型認定こども園にも受講を認めている講座です。幼は、幼保連携型認定こども園も参加が可能です。

6-3 希望研修（これが聴きタイム）

研修講座名	開催日	日数	受講定員	対象校(園)種
これが聴きタイム研修講座（国語科の授業づくり）	8/26	1	100	小・中・高・特
これが聴きタイム研修講座（算数・数学）（京都府連携講座）	7/26	1	100	小・中
これが聴きタイム研修講座（子どもの心のケアA）	8/1	1	30	小・中・高・特
これが聴きタイム研修講座（子どもの心のケアB）	8/29	1	200	幼・小・中・高・特
これが聴きタイム研修講座（子どもの心のケアC）	8/26	1	30	幼・小・中・高・特

※ 対象校(園)種の幼は、幼保連携型認定こども園も参加が可能です。

6-4 希望研修（免許状更新講習）

研修講座名	開催日	日数	受講定員	対象校(園)種
免許状更新講習 小学校「プログラミング教育・ICT活用」	7/22、7/24、7/26、7/29、8/2、8/8、8/16、8/22、12/25	9	80他	小
免許状更新講習 小学校「小学校英語・外国語活動」	7/22、7/29、8/2、8/6、8/8、8/16、8/23、12/26	8	40	小
免許状更新講習 小学校・中学校「道徳教育」	7/22、7/25、7/26、7/29、8/1、8/5、8/6、8/8、8/16、8/19、8/23、12/26	12	40	小・中
免許状更新講習 中学校・高等学校・特別支援学校「ICT活用」	7/25、8/6、8/19、12/26	4	60他	中・高・特
免許状更新講習 中学校・高等学校「教育相談」	7/29、8/6、8/16	3	40	中・高
免許状更新講習 特別支援学校「教育相談」	7/26、8/5、8/19	3	40	特

7 要請訪問研修

研修講座名	対象校(園)種
スキルアップ理科要請訪問研修講座	小・中
スキルアップ理科室づくり要請訪問研修講座	小・中
外国語教育DVD教材を用いた要請訪問研修講座	小・中・特
A L Tと進める外国語教育要請訪問研修講座	小・中・特
学校事務のグループワーキング要請訪問研修講座	小・中
特別な支援を要する子どもの指導・支援要請訪問研修講座	幼・小・中・高・特
特別支援学級における授業づくり要請訪問研修講座	小・中

※ 対象校(園)種の幼は、幼保連携型認定こども園も参加が可能です。

各市町村教委教育長 }
各 小 学 校 長 } 殿

奈良県教育委員会教育長

平成31年度森林環境教育指導者育成事業（未来の科学者創出）
推進校の募集について（通知）

このことについて、下記のとおり募集しますので、応募についてよろしく申し上げます。

記

1 趣 旨

未来の科学者を創出するために、自然観察（河川や天体等の観測を含む）を通して理科好きな児童を増やすとともに、森林を大切にする気持ちと森林環境を守り育てようとする態度を育てることを目的とする「森林環境教育」の指導ができる教員を育成する。

2 実施期間

2019（平成31）年5月1日から2020（平成32）年2月21日までとする。

3 実施内容

（1）概 要

県内の公立小学校（3校）を「森林環境教育指導者育成推進校」（以下「推進校」という。）に指定し、天体観測を含む自然観察の指導法に関する実践的な研修を行うとともに、当該推進校の野外活動において、推進校以外の教員を対象とした「天体観測指導力向上研修」を実施する。

（2）推進校における取組

ア 内 容

推進校は、県立教育研究所の委託を受け、次のことを行う。

- ①県内の野外活動施設における宿泊を伴う野外活動
- ②野外活動における自然観察（天体観測を含む）の実施

- ③野外活動引率予定教員の県立教育研究所における実技研修への派遣
- ④県立教育研究所スキルアップ理科要請訪問研修講座の受講
- ⑤理科等の教科や特別活動、総合的な学習の時間等の学習内容との関連を踏まえた森林環境教育の教育課程への適切な位置付け
- ⑥「天体観測指導力向上研修」の場の提供
- ⑦その他森林環境教育の推進につながる取組

イ 委託期間

委託を受けた日から2020（平成32）年2月21日までとする。

ウ 委託の対象となる経費等

委託の対象となる経費は、使用料、賃借料、本事業の実施に関わる教材費及び消耗品費とし、委託料は1校当たり94,000円を上限とする。

(3) 天体観測指導力向上研修の実施

ア 研修目的

- ・天体望遠鏡を使用した自然観察（天体観測を含む）の指導スキルを向上させる。
- ・小学校理科における内容の区分「地球」のうち、天体に関する理解を深める。

イ 研修内容

- ・天体望遠鏡の使用に関する実技演習
- ・小学校理科における内容の区分「地球」のうち、天体に関する講義
- ・推進校が実施する自然観察（天体観測を含む）の見学

ウ 研修開催日

推進校は活動1日目を研修実施日とし、県立教育研究所教科・情報研究部Webページのインフォメーションにて公開する。

エ その他

旅費は、県立教育研究所が負担する。

4 募集内容

本事業では、以下の条件により、推進校及び研修の受講を希望する教員を募集する。

(1) 推進校（3校）

- ・県内の野外活動施設において、宿泊を伴う野外活動を行うこと。
- ・学年、学級数にかかわらず、野外活動に参加する児童の人数が原則50名以下の規模であること。

(2) 「天体観測指導力向上研修」の受講を希望する教員（50名程度）

- ・天体観測を中心とした自然観察についての実践的な指導法の研修の受講を希望する県内公立学校（学校種不問）の教員であること。

5 応募方法

(1) 推進校

第1～3号様式により、平成31年4月12日（金）までに、市町村教育委員会を通じて県立教育研究所長宛て申し込むものとする。

(2) 「天体観測指導力向上研修」の受講を希望する教員

推進校決定後、県立教育研究所教科・情報研究部Webページにて公開される研修開催日を確認の上、第9号様式により、研修開催日の3日前までに、県立教育研究所長宛て郵送又はFAXで申し込むものとする。

6 推進校及び研修受講者の決定等

(1) 推進校の決定

県立教育研究所は、事業実施計画等を審査し、委託料を交付する推進校を決定する。申込み多数の場合は、県立教育研究所にて推進校の選定を行う。推進校に決定した小学校は、請書（第4号様式）を県立教育研究所長宛て提出するものとする。

また、選定された3校においては、各市町村が実施する森林環境教育体験学習推進事業への申込みを行わないこと。

(2) 「天体観測指導力向上研修」受講者の決定

県立教育研究所は、参加希望日の調整を行い、各開催日程における受講者を決定する。

7 推進校における経費の取扱い

(1) 事業実施過程において、事業実施計画（第2号様式）の変更や所要経費（第3号様式）

に記載された経費項目の20%を超える増減を行う必要が生じたときは、速やかに県立教育研究所教科・情報研究部に報告し、その指示を受けるものとする。

(2) 委託料の収入及び支出に当たっては、適当な帳簿を用い、領収証とともに整理し、使途を明らかにしておくこと。

8 推進校における事業実施の報告

(1) 推進校は事業終了後、第5～8号様式を作成し、上記7（2）で定める領収証の写し（要原本証明）と共に、2020（平成32）年2月21日までに、市町村教育委員会を通じて県立教育研究所長宛て提出するものとする。

(2) 実施報告書（第6号様式）のほか、推進校での取組について事例の提供等を求める場合がある。

9 推進校事業実施状況等の調査

県立教育研究所は必要に応じ、本事業の実施状況及び経費処理状況等について、調査を行う。

10 問合せ先

奈良県立教育研究所 教科・情報研究部（平成31年3月31日までは研究開発部）
教科教育係

〒636-0343 奈良県磯城郡田原本町秦庄2-2-1

TEL : 0744-33-8903 (直通)

FAX : 0744-33-8909

(第1号様式)

第 号
平成31年4月 日

奈良県立教育研究所長 殿

学校名
住 所
校長名



平成31年度森林環境教育指導者育成事業（未来の科学者創出）の申込みについて

このことについて、下記の書類を添えて申し込みます。

記

- ・平成31年度森林環境教育指導者育成事業（未来の科学者創出）
実施計画書 （第2号様式）
- ・平成31年度森林環境教育指導者育成事業（未来の科学者創出）
所要経費 （第3号様式）

(第2号様式)

平成31年度森林環境教育指導者育成事業(未来の科学者創出)実施計画書

学校名			
住所			
校長名			
TEL		FAX	
Mail			

(1) 実施学年の状況

実施学年	年	学級数	クラス	児童数	名
------	---	-----	-----	-----	---

※複数学年にまたがる場合は合計数を記入すること。

(2) 県立教育研究所実技研修会

	希 望 日
第1希望	月 日 ()
第2希望	月 日 ()
第3希望	月 日 ()

対象：引率予定教員

(3) スキルアップ理科要請訪問研修講座

	希 望 日
第1希望	月 日 ()
第2希望	月 日 ()
第3希望	月 日 ()

※この研修講座の正式な申込みについては、新年度に配布される「平成31年度研修ガイドブック」を参考に別途申し込むこと。

(4) 森林環境教育の実施予定

①野外活動実施予定

施設名	予定日
	月 日 ()

②その他の体験学習

内 容	予定時期	体験学習予定場所

※今まで実施していた森林環境教育体験学習プログラムを参考に記入すること。

(第3号様式)

学校名 ()

平成31年度森林環境教育指導者育成事業(未来の科学者創出)所要経費

経費項目	金額	積算内訳
	円	
	円	
	円	
	円	
委託額	円	

(記入例)

経費項目	金額	積算内訳
使用料及び賃借料	〇〇, 〇〇〇円	体験学習移動用バス代 〇〇, 〇〇〇円×〇台= 〇〇, 〇〇〇円 (移動区間: 学校~〇〇〇〇〇〇〇〇まで)
消耗品費	〇, 〇〇〇円	ワークシート用画用紙代 〇〇円×〇枚= 〇〇〇円
委託額	94, 000円	※委託の対象となる経費は、使用料及び賃借料、本事業の実施に関わる消耗品費とする。

所要経費の記入については次のことに留意して記入すること。

- ① 9, 4000円を上限として作成すること。
- ② 事前に見積りを取るなどし、残額が出ないように記入すること。

(第4号様式)

請 書

委託内容 平成31年度森林環境教育指導者育成事業（未来の科学者創出）
（事業実施計画書のとおり）

委託期間 平成31年4月 日から2020（平成32）年2月21日

契約金額 一金 94,000円

以上のとおり奈良県契約規則（昭和39年5月奈良県規則第14号）に基づいて
お請けします。

平成31年4月 日

奈良県立教育研究所長 殿

契約者 学校名

校長名



(第5号様式)

第 号
年 月 日

奈良県立教育研究所長 殿

学校名

住 所

校長名



平成31年度森林環境教育指導者育成事業（未来の科学者創出）の報告について

このことについて、下記により報告します。

記

- ・平成31年度森林環境教育指導者育成事業（未来の科学者創出）
実施報告書（第6号様式）
- ・平成31年度森林環境教育指導者育成事業（未来の科学者創出）
委託料経費精算報告書（第7号様式）

(第6号様式)

学校名 ()

平成31年度森林環境教育指導者育成事業(未来の科学者創出)実施報告書

1 実施学年

実施学年	年	学級数	クラス	児童数	名
------	---	-----	-----	-----	---

2 実施日と実施内容

	実施日	実施内容
県立教育研究所 実技研修会	月 日	
スキルアップ 理科要請訪問研修	月 日	
野外活動における 森林環境教育	月 日	

3 森林環境教育推進に向けた教員研修の成果と課題

--

4 事業実施前と実施後を比較した、児童の意識の変化

質 問	児童の回答人数	
	そう思う	そう思わない
① 理科を好きだと思ふ気持ちが強くなった。	人	人
② 森林環境に対する関心が強くなった。	人	人
③ 自然を大切にしようという気持ちが強くなった。	人	人
④ 森林を守り育てるために行動できることを具体的に考えられるようになった。	人	人

5 次年度の実施予定

推進校の継続を希望	する ・ しない	(どちらかに○)
利用予定施設名		

(第7号様式)

学校名 ()

平成31年度森林環境教育指導者育成事業（未来の科学者創出）委託料経費精算報告書

経費項目	金額	積算内訳
	円	
	円	
	円	
	円	
委託額	円	

(記入例)

経費項目	金額	積算内訳
使用料及び賃借料	〇〇, 〇〇〇円	体験学習移動用バス代 〇〇, 〇〇〇円×〇台= 〇〇, 〇〇〇円 (移動区間：学校～〇〇〇〇〇〇〇まで)
消耗品費	〇, 〇〇〇円	ワークシート用画用紙代 〇〇円×〇枚= 〇〇〇円
委託額	94, 000円	

委託料経費精算報告書の記入については次のことに留意して記入すること。

- ① 事業実施報告書（第6号様式）における実施内容との整合性を図った上で報告すること。
- ② 本事業の経費にかかる領収証の写し（要原本証明）を添付すること。

(第8号様式)

請 求 書

一 金

円 也

ただし、平成31年度森林環境教育指導者育成事業
(未来の科学者創出) 委託料として

上記の金額のとおり請求いたします。

年 月 日

奈良県立教育研究所長 殿

学校名

所在地

校長名



口座 振替 先	金融機関名	
	支店名	
	預金種目	
	口座番号	
	口座名義人 ----- カナ	

※口座番号、口座名義人等は正確に記入すること。

(第9号様式)

**平成31年度天体観測指導力向上研修
参加申込書**

奈良県立教育研究所長 殿 2019 (平成31) 年 月 日

学校名	
校長名	
T E L	(- -)

- (1) 県立教育研究所教科・情報研究部Webページにて公開される研修開催日を確認の上、郵送又はFAXにて申し込んでください。
- (2) 県立教育研究所にて参加日の調整を行った後、所属校宛てに送付する決定通知において参加日を通知します。
- (3) 旅費は県立教育研究所で負担します。
- (4) 同じ学校であれば、この用紙で4名まで申し込むことができます。

参加者氏名	
月 / 日	
第1希望	/
第2希望	/
第3希望	/

参加者氏名	
月 / 日	
第1希望	/
第2希望	/
第3希望	/

参加者氏名	
月 / 日	
第1希望	/
第2希望	/
第3希望	/

参加者氏名	
月 / 日	
第1希望	/
第2希望	/
第3希望	/

【送付先】奈良県立教育研究所 教科・情報研究部 教科教育係

FAX : 0744-33-8909

郵 送 : 〒636-0343 奈良県磯城郡田原本町秦庄22-1